

黒部市地域公共交通計画の進捗状況について (令和7年度)

資料 4

1. 実施事業の進捗状況について

令和6年3月に策定した黒部市地域公共交通計画に位置付けられた27の事業について、基本方針ごとの進捗状況を整理しました。

令和7年度の進捗状況については、路線バスルート、ダイヤ等の見直しや電動ミニバス（グリーンスローモビリティ※）の本格運行に関する取組を中心に実施しています。

※グリーンスローモビリティとは、時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称です。

基本方針① いつまでも出かけやすい公共交通

記載の8の事業について、22の取組に着手し、これらのうち18の取組が計画通り進捗しています。一方、路線バス・コミュニティ交通に関する地域イベントに対応した運行や定期券や共通パスの導入、多様な輸送資源の活用、運転手確保に向けた労働環境整備等への支援に関する取組については、具体的な検討に至りませんでした。

基本施策	実施事業	進捗状況	令和7年度の主な取組
(1) 鉄道・路線バス等のサービスを維持・改善する	①-1 北陸新幹線の利用促進と活用		
	・地域鉄道や路線バスとの接続	○	・新幹線との接続の維持・向上（交通事業者） ・富山地方鉄道線では北陸新幹線と同日となるようダイヤ改正日の見直しを実施（交通事業者）
	・黒部宇奈月温泉駅に乗り入れる路線バスの周知	○	・市広報やニュースレター等により路線バスの周知（市） ・黒部宇奈月温泉駅でのイベントによる沿線温泉地等との連携（市民）
	・沿線温泉地等と連携した観光振興施策（三温泉駅物語など）による利用促進	○	・新幹線利用促進するため、沿線市で連携し、利用促進キャンペーンを実施（市）
	・通勤通学支援補助金の継続的な実施	○	・黒部市新幹線通勤通学支援補助金の継続（市） ・黒部宇奈月温泉駅の課題解決に向けた国、県等への働きかけ等の実施（市）
	・関係機関と連携した取組	○	
	①-2 地域鉄道の維持及び利便性向上		
	・鉄道事業者への財政的支援の継続的な実施	○	・鉄道事業者への支援継続（市） ・鉄道への接続を考慮した路線バスのダイヤ調整（交通事業者）
	・路線バスとの接続	○	・市広報等を通じたサイクルトレインのPR（市、交通事業者）
	・サイクルトレイン等の利用促進	○	
	①-3 路線バス・コミュニティ交通の運行及び利便性向上		
	・定期的な評価に基づくダイヤ、ルート等の見直し	○	・路線バス3路線（新幹線生地線、石田三日市線、南北循環線）のダイヤ、ルート等の見直し（市、交通事業者） ・愛本コミュニティタクシー内山・音沢連絡線の運行を予約式へ変更（市、交通事業者）
	・地域イベントに対応した運行の検討	○	・新幹線市街地線（休日）の運行形態の見直し（市、交通事業者）
	・カーボンニュートラルの推進	○	・地域イベントに対応した運行について、内部で検討（市）
	・クロスセクター効果の把握・分析	○	・グリーンスローモビリティの運行（市、交通事業者） ・クロスセクター効果の調査（市）
	・運行事業者への財政的支援	○	・運行事業者への財政的支援の継続（市）
	①-4 集客施設への需要に合わせたバス路線の見直しによる利用促進		
	・新たな施設利用に対応した路線バスの運行の見直し	○	・道の駅KOKOくろべ（石田三日市線）及び市民交流センターあおーよ（石田三日市線、電動ミニバス）への乗入れを追加（市、交通事業者）
	①-5 実情を踏まえた運行形態の見直しの検討		
	・デマンド交通等の導入検討	○	・AIデマンド交通の導入事例の調査研究等の実施（市） ・デマンド交通の導入について、交通事業者との意見交換の実施（市、交通事業者）
	・AIによる効率的な運行の検討	○	

基本施策	実施事業	進捗状況	令和7年度の主な取組
(1) 鉄道・路線バス等のサービスを維持・改善する	①-6 路線バス・コミュニティ交通の運賃制度の見直しの検討	△	・同一区間の運賃格差解消に向けた運賃体系の見直し検討(市、交通事業者) ・市・交通事業者等での学生や高齢者に対する割引制度についての意見交換の実施(市、交通事業者) ・定期券、共通パスの導入について、内部で検討(市)
	・運賃体系や運賃の見直しの検討	○	
	・学生や高齢者に対する割引制度の検討	○	
	・定期券、共通パスの導入の検討	○	
(2) 輸送資源を総動員する	①-7 福祉、教育、観光、医療、商業等と連携した運行の検討	△	・内山・音沢地区でのスクールバスを活用した実証運行終了後、多様な輸送資源の活用について、内部で検討(市)
	・多様な分野との連携による輸送資源の活用方策の検討	○	
(3) 交通事業者の経営を支える	①-8 運転手確保の取組への支援	△	・人材の雇用・育成等に関する支援策等について、交通事業者等との意見交換(市、交通事業者)
	・人材の雇用・育成等に関する支援策等の検討	○	
	・労働環境整備への支援策等の検討	○	

○：計画通り進捗しているもの、△：課題があり進捗に影響が出たもの、×：進捗がなかったもの又は一定の水準から悪化したもの

基本方針② まちづくりや観光と共創する公共交通

記載の8の事業について、15の取組に着手し、これらのうち11の取組が計画通り進捗しています。一方、能登半島地震による黒部宇奈月キャニオンルート的一般開放の遅れから、アルペンライナーと黒部宇奈月キャニオンルートとの連携に関する取組や黒部宇奈月キャニオンルート一般開放に伴う既存公共交通の利用促進に関する取組（イベントや企画旅行とタイアップした運賃割引、黒部宇奈月キャニオンルート的一般開放に合わせたMaaS※コンテンツの充実）については、実施することができませんでした。また、「ちよいのり黒部」の自転車台数も増台することができませんでした。

※MaaS（マース：Mobility as a Service）とは、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスのことです。

基本施策	実施事業	進捗状況	令和7年度の主な取組
(4) 駅周辺のまちづくりと中心市街地の活性化を促進する	②-1 黒部駅における施設整備の推進	△	・黒部駅西側出口整備等の整備やバリアフリー化に向けて鉄道事業者とスケジュール等の調整を進めている(市、交通事業者)
	・西側出口等の整備やバリアフリー化による黒部駅の利便性向上	○	
	②-2 生地駅移転事業の調査・検討	△	・地元関係者や鉄道事業者等と協議し、生地駅及び駅周辺の基本的な方向性について、整備方針の整理等を実施(市)
	・事業による波及効果や財源の検討	○	
	②-3 中心市街地における、よりきめ細かな移動手段の創出	△	・グリーンスローモビリティを活用した電動ミニバスの本格運行を開始(市)
	・電動小型カートの導入	○	
	②-4 無料公共自転車「ちよいのり黒部」の整備・運用	△	・自転車の台数は現状維持に留めた(市) ・あおーよへのステーション増設(市) ・利用登録システムやGPSを活用した運用の調査、研究(市)
	・自転車の増台の検討	△	
	・ステーションの増設の検討	○	
	・運用の見直しの検討	○	
	②-5 黒部宇奈月温泉駅周辺施設等のあり方の検討	△	・敦賀延伸後の駐車場利用状況の把握(市) ・黒部宇奈月温泉駅東口広場の有効利用と賑わい創出を図るため、駅東口広場の乗入れ可能車両に「旅館等の送迎バス」を追加(市)
	・駐車場の規模や運用方法の検討	○	
	・駅周辺施設のあり方の検討	○	

基本施策	実施事業	進捗状況	令和7年度の主な取組
(5) 観光とともににぎわいをつくる	②-6 アルペンライナーの維持及び利用促進		・運転手不足により運行継続が困難となったアルペンライナーに代わり、関係機関と連携し、同様のルートを巡るツアーバスの実施に対する支援を行った(県、市、魚津市)
	・運行や利用促進に対する支援	○	
	・黒部宇奈月キャニオンルートとの連携	△	・ホームページ、チラシ、広告等により観光客へのPRを行い、利用者数の増加に努めた。(その他事業者)
	②-7 黒部宇奈月キャニオンルート一般開放に伴う既存公共交通の利用促進		
	・イベントや企画旅行とタイアップした運賃割引	△	・能登半島地震による黒部宇奈月キャニオンルートの一般開放の遅れから、進捗がない。(市)
	・MaaSコンテンツの充実	△	
	②-8 自転車事業の推進		・黒部宇奈月温泉駅で新たにレンタサイクル事業を開始(市)
	・レンタルサイクル事業の実施準備	○	
	・サイクリングロードマップの活用	○	
	・観光分野と連携した自転車事業の整理・統合	○	

○:計画通り進捗しているもの、△:課題があり進捗に影響が出たもの、×:進捗がなかったもの又は一定の水準から悪化したもの

基本方針③ みんなで支え合う公共交通

記載の5つの事業について、16の取組に着手し、これらのうち12の取組が計画通り進捗しています。一方、体験乗車会等の開催に関する取組や、子供たちへのモビリティ・マネジメント※に関する市としての取組を実施することができず、想定通りの進捗には至りませんでした。また、MaaSアプリの導入に関する取組や企業・店舗等との共創の促進に関する取組については、市内で検討を進めましたが想定通りの進捗には至りませんでした。

※モビリティ・マネジメントとは、当該の地域や都市を、「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に(=かしこく)利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取組を意味するものです。

基本施策	実施事業	進捗状況	令和7年度の主な取組
(6) 公共交通を積極的に利用する	③-1 運転免許自主返納と連携した利用促進		・免許返納者に対する支援の継続(市)
	・免許返納者に対する支援	○	
	・関係機関と連携した制度の周知	○	
	③-2 モビリティ・マネジメントの推進		・利用促進に向けた関係自治振興会との連携(市、市民)
	・自治振興会等と連携した利用促進	○	
	・体験乗車会等の開催	○	
	・親子でお出かけ事業の実施	○	
	・企画切符等の発行	○	
	・ノーマイカーデーの検討	○	
	・ホームページ等を活用したモビリティ・マネジメントの情報発信	○	
	・子供たちへのモビリティ・マネジメントの検討	△	
	③-3 交通DXの推進による利用促進		・MaaSアプリの導入について、内部で導入に向けての課題の洗い出しを進めた(市)
	・MaaSアプリの導入検討	△	

基本施策	実施事業	進捗状況	令和7年度の主な取組
(7) 支え手・担い手の参加を促す	③-4 企業・店舗等との共創の促進		
	・HP等による支え手・担い手としての参画に向けた意識啓発の検討	○	・市広報やホームページ、ニュースレター等による意識啓発の情報発信(市)
	・スポンサー、サポーター制度の導入検討	○	・スポンサー、サポーター制度導入の検討(市)
	・企業、店舗等とのタイアップ企画の検討(スタンプラリー事業等)	△	・企業、店舗等とのタイアップ企画について、内部で検討(市)
	・企業による利用促進施策の推進	○	・ショッピングセンターでバス出発時の館内放送を開始した。(民間企業)
	③-5 地域で支える新しい移動手段の検討		
	・町内会や地域住民で支え合う移動手段の導入検討	○	・公共ライドシェア、日本版ライドシェアに関する情報収集、調査研究(市)
	・ライドシェアの導入検討	○	

○:計画通り進捗しているもの、△:課題があり進捗に影響が出たもの、×:進捗がなかったもの又は一定の水準から悪化したもの

基本方針④ みんなにやさしい公共交通

記載の6つの事業について、12の取組に着手し、これらのうち11の取組が計画通り進捗しています。一方、車両・バス停等の親しみやすいデザインに関する取組については、市内部で検討を進めました。想定通りの進捗には至りませんでした。

基本施策	実施事業	進捗状況	令和7年度の主な取組
(8) 分かりやすく運行情報を伝える	④-1 情報提供の充実		
	・ホームページ、広報、回覧板等による周知	○	・ホームページ、市広報等による情報発信の充実(市)
	・マイ時刻表の作成	○	・マイ時刻表の作成し、HPに掲載(市)
	④-2 交通情報提供システム等の活用・利用促進		
	・とやまロケーションシステム、デジタルサイネージの運用、周知	○	・ホームページ、市広報等でのとやまロケーションシステムの周知(市)
	・主要バス停へのQRコードの設置によるリアルタイム運行情報等へのアクセス改善	○	・市民交流センターあおよにデジタルサイネージを設置(市)
(9) 施設や車両を改善する	④-3 バス停の増設と待合環境の改善		
	・駅施設の改善、バリアフリー化、保全	○	・黒部駅のバリアフリー化に向けて鉄道事業者とスケジュール等の調整を進めている(市、交通事業者)
	・地鉄駅のトイレ整備の検討	○	・栃屋駅周辺でのトイレの整備に向けて実施計画を行った(市)
	・駐輪場の維持管理	○	・鉄道駅駐輪場の適正な維持管理(市)
	④-4 バス停の増設と待合環境の改善		
	・バス停上屋、ベンチ等の整備	○	・路線バスのルート見直しに伴うバス停の変更について、地元関係者や地権者との調整を行った(市)
	④-5 環境配慮型車両、バリアフリー車両による運行や新システム等の導入の検討		
	・環境配慮型車両、バリアフリー車両の拡充	○	・環境に配慮したグリーンスローモビリティ車両の運行を新たに開始(市、交通事業者)
	・自動運転等の先進技術の導入の検討	○	・自動運転の先進地視察、調査研究(市)
	④-6 車両、バス停等のデザイン化の検討		
	・バス停、印刷物等の路線別ナンバリング及びカラーリング	○	・バス停、印刷物等の路線別ナンバリング等の継続(市、交通事業者)
	・親しみやすいデザインの検討	○	・親しみやすいデザインについて、内部で検討(市)

○:計画通り進捗しているもの、△:課題があり進捗に影響が出たもの、×:進捗がなかったもの又は一定の水準から悪化したもの